

静岡次世代サロン 取組テーマ

「静岡市の現実に、
本気で向き合う
未来志向の若者を
継続支援するために」

テーマ設定のきっかけ

- 地域の「こうなったらいいな」と感じる事を話せる同世代がいないと感じた。
- 違う職業・組織・団体や環境の中で生活している様々な人達と、前向きな意見交換がしたい。
- 行政のみに任せず、市民レベルでの意思決定と行動が起こせないか。

2つの仮説

- ①本当は静岡市の課題に関心がある若者ってたくさんいるのではないか？
- ②その人達は意見交換の機会や教養をつけ、行動してみたいのではないか？

現状イメージ

静岡のこと
本当はいろいろ
考えてるよ
(課題認識)

役に立てれば
いいけど
何したら??

知識ないし
どうせ意見は
通らないよな。

仕事以外の
いろんな人と
話が出来れば。

そういうこと考える
仲間ってなかなか
いないよな。



若者の意識

- 社会課題について認識あり
- 社会貢献した方が良いという意識あり
- 機会や時間、情報や仲間の不足が、一步を踏み出せない足かせ
- 新しいことを学ぶ場や、他ジャンルの人との交流や活動、人脈を求めている

**静岡次世代サロンは、そんな若者を継続支援し、
当事者意識を持つ”若者NEO”を養成しようと考えた**

※「若者NEO」は造語です。NEOは”これまでより新しい”の意味です。

ターゲット「若者NEO予備軍」

静岡の若者20-39歳

167,698人 (静岡市20-39歳/平成22年国勢調査)

社会参加に意欲あり 7割 よって117,390人
次に262の法則より

当事者意識あり(既に若者NEO)は2割 23,478人…②

若者NEO予備軍は6割 70,434人…①

①若者NEO予備軍にアプローチするためには、
まず②既に若者NEOを集めてリピーターを増やし、
そこから裾野を広げ若者NEO予備軍へのアプローチ
をかけていく

サロンを開いて分ったこと

静岡の若者には

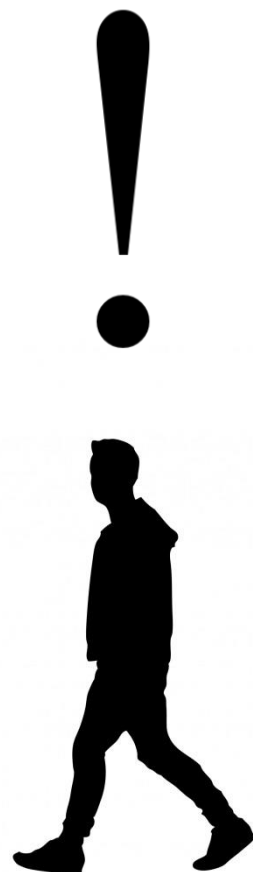
- 機会の創出
- 情報の提供
- 新しい仲間

が必要である。

それらを

- 継続し
- 共に勉強
- さらに発展

させていく



静岡次世代サロンからの提案と目標

【提案】

2ヶ月に1回のペースで、サロンを定期開催

【目標】

継続期間3年間

1年目：年間参加者延べ人数90人
(リピーター率50%)

2年目：年間参加者延べ人数100人
(具体的取り組み活動数1件)

3年目：年間参加者延べ人数125人
(具体的取り組み活動数3件)